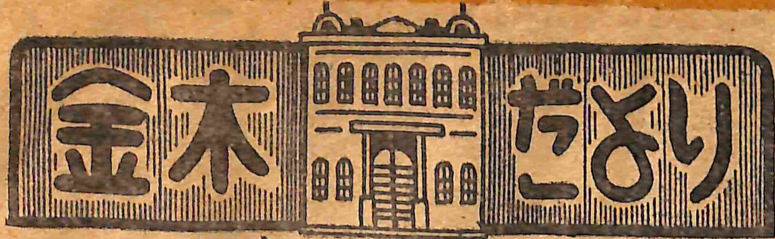


赤い羽根で 明るく日本 (赤い羽根運動は十月)

発行所 金木町 印刷所 東奥日報社 印刷局 印刷局



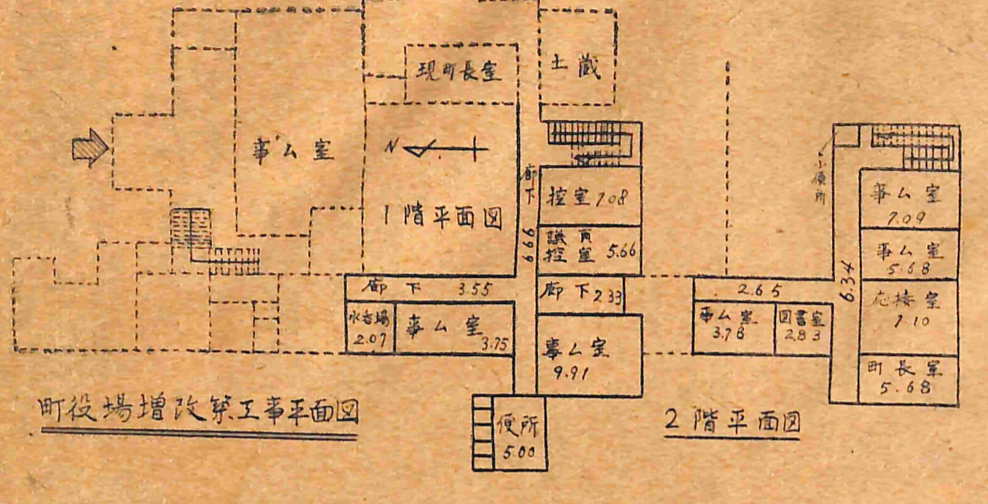
町税今後の納期

家計には 税金も 秋の収穫期を前にして、それぞれ収支の計画をたてられて...

地財法適用で財政再建

赤字は八年で解消 再建債は二千百万円か

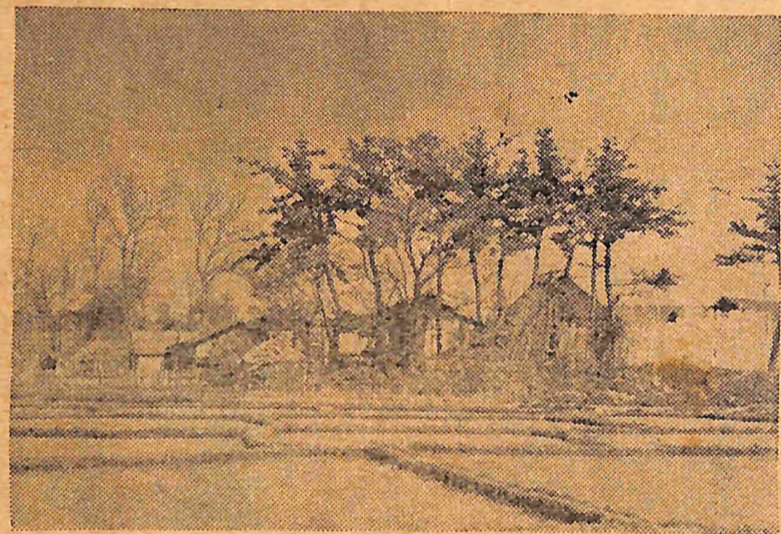
合併町村に対する政府の方針が変つたこと、多額の町税滞納がたり、昭和二十九年の赤字約一千九百万円が現在の町財政にも大きな響き、今年春、地財法適用による財政再建という方針で自治庁に申入れたところ、再建債に指定されたので、当町では自治庁の査定の結果の内示があれば、再検討の上、さらに計画をたてなおして議会の承認を得る態勢をととのえている。



自治の危機というように解釈するのは当たらない。一、自主再建といえども国の制約は受けるのであり、この際赤字を生じた地方自治体、特に小規模町村においては、法適用の団体より苦境におちいることがはつきりしている。

役場庁舎を増改築 竣工は十一月末 図書室など十室増加

当町役場庁舎の増改築の入札は条例制定が遅れたため、去る八月二十五日、漸く指名入札を行つたがその結果伊藤組金木出張所(金木大館市)が百四十四万六千円で落札し、同月三十日契約した。

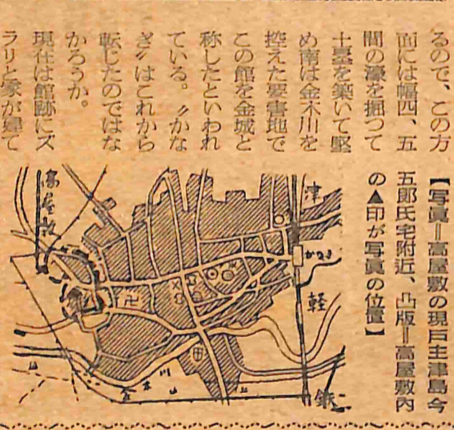


租二十九年度の赤字一千三百六十九万九千円、同年の支払繰延額(昭和二十九年決算時における未払分)の八百三十二万九千九百四十四円、計二千三百三十九万八千九百四十四円に上り、起債は千九百九十九万九千九百九十九円に上り、十月に...

約250メートルを改修舗装 二十数年ぶりで県道を

三十年前予算による県道の十メートルが出来上る予定。この県道は二十数年前に舗装された六メートル完成したが、本年度は舗装後ひどく破損し、修理を要するとして、南新町の一部七メートルを改修舗装する。

名勝・古跡めぐり



津島家の住んだ金城の跡 金城の西端に高層敷という東西七、八十間、南北百間以上にあたる巨大な丘陵地帯がある。西北は低い水田で、湖水時代に湖に突出した断崖であったらしい、東は冷水(ひやみず)という沢で、谷間を利川が流れている。

は九二%と全国平均でもつていくということになるが、町税の滞納は強制執行を断行しなげればならないので苦境におちいる。石のように昭和二十九年度の赤字は再建債で町財政は一時的には楽になるが、その反面のことは強要されることになる。

交換分合に理解を

本年度は二百六十町歩の交換分合に理解を。金木地区農業者委員会(会長中谷与右衛門)では、委員会が事業主体となつて、二十九年度以来農地の交換分合を実施して来たが、三十二年度まで一応終了することになっているので、関係者の積極的な理解と協力を要している。

町道の補修に全力

町道補修の本年度予算は百六十万円計上しているが、現在補修した分は各地区とも四割強を実施し、計七十五万円となつている。白川建設課長の話、町道はその大部分がこれで行っているので、その補修には十分留意してやっているので、資材や天候などに心配されるような収入も思つていながら進まず、申訳ないと思つていまして、降雪前に全力を向けています。

人口動態

Table with columns for population (2,857), births (22), deaths (4), migration in (15), and migration out (5) as of September 31, 1956.

人事異動

農林商工課長 西沢小市郎 収入役職務代理者を命ずる(六・二) 喜良市診療所 岡田 春子 収入役 伊丸勘助(八・三) 町長職務代理者を命ずる(九・一) 臨時嘱託を命ずる、出納勤務を命ずる(九・一) 伊丸勘助(臨時嘱託) 山口 玲子(八・一三)

目標額を突破

十七万八千余円集る。本年度の日赤社費の募金運動は、五月から八月にかけて展開されたが、八月末現在で目標額の十六万四千三百円(但し長富部落分を除く)を一万四千三百七十七円を超過した十七万八千三百七十七円が集つた。

新教育委員会法

よりの民主的な任命制

議会に諮り十月一日発足

公選制であった教育委員法が改正されたので、九月中には議会の同意を得て町長が任命し、十月一日から新発足しなければならないことになっているが、その教育委員会法について次に述べてみよう。

従来は、教育委員は公選（つまり住民の直接選挙）によって選ばれてきたが、今後は地方公共団体（府、県、道、市、町、村）の長が、地方議会の同意を得て五名の委員を任命することになる。

かというところ、選挙ということになると、必ずしも立派な教育委員が公選によって得られない欠点がある。あるいは、また、選挙を通じて、政争が教育の分野に持ち込まれることも避けなければならない。また、俗に村に二人の村長がいるといわれるように、村長も教育委員も公選によって出て来たところから両者が対等の立場を固執し、特に互いに感情的対立があることなど

地方自治体における一般行政と、教育行政の調和を欠くという実例も多かった。こうした実例を勘案して、教育委員の公選制を廃止して、任命制とつきりかえたのだが、任命制といつても、それは住民の直接選挙によつて選ばれた地方公共団体の長がこれまた同じく住民の公選によつて選ばれた議員から成り立つ地方議会の同意を得て任命するといふ、民主的方法をとっているのであるから、教育委員の任命には、公正な住民の意思を十分に反映させることができる。その上また住民は、教育委員が適当でないとき、あるいは解職を請求する権利を持つてゐる。

金木町商工会では八月二十四、五、六の三日間にわたつて商工祭を開催したが、武者行列、仮装行列、ミス西北コンテストなど多彩な行事で人気を博す、通行止めを予る賑わいを呈した。

【写真】武者行列の車上での踊り



今昔の人出て賑わう

つて選ばれた議員から成り立つ地方議会の同意を得て任命するといふ、民主的方法をとっているのであるから、教育委員の任命には、公正な住民の意思を十分に反映させることができる。その上また住民は、教育委員が適当でないとき、あるいは解職を請求する権利を持つてゐる。

て選出された議員から成り立つ地方議会の同意を得て任命するといふ、民主的方法をとっているのであるから、教育委員の任命には、公正な住民の意思を十分に反映させることができる。その上また住民は、教育委員が適当でないとき、あるいは解職を請求する権利を持つてゐる。

興味をもたれる「金木だより」に

「金木だより」をいつも拝見すよ。おもしろい。編集その他に並々ならぬものであれば多額の費用と、編集者の御苦労が水のあわです。編者の御苦労が水のあわです。編者の御苦労が水のあわです。

小唄、音頭の入選決る

藤田(五所) 永沢(板柳)の両氏

金木町では新金木音頭、金木小唄の歌詞を広く募集したところ、応募作品は三十二篇に達した。応募作品は奥内は勿論、奥外は遠く長野、群馬、茨城の各県及び東京都からも投稿されてきたが、これをコロムビア専属作曲家、石本美由一、金木小唄

起氏に選出を依頼した結果次の二編が入選と決定した。
①入選(二編)
一、新金木音頭 藤田 桂三
五所川原市東町 (五所高教諭)
二、金木小唄 永沢 与助

板柳町大蔵町 (詩人) 佳作(二編)
一、新金木音頭 戸枝ひつし
二、金木小唄 大江 虹介 (東原)

この作曲はコロムビア専属で木造町出身の上原げんと氏に依頼し、すでに完成している。踊りの振付けも出来ている。
入選作品は次のコロムビア歌手によりレコードに収録済み、今月末に入選歌詞の送り
新金木音頭
藤田 桂三 作曲
上原げんと 振作
石本美由起 補作

我が校の文化活動(四)

嘉瀬中学校の巻

計画的に自主性を

視聴覚教育で地域にも

語込みはタメ、自発的な学習を... 出発して、自発的、活動的、経験中心の語込み的、圧制的な方法を排し、新しい教育の原理である。生徒自身の欲求や興味から

子供たちのよい遊び場

○金木小学校西側に児童遊園地ができたのは五月の話。ここがその児童遊園地だが、まだ名前がつけられてないようだが、この遊園地(金木内)の遊び場にもなっている。
○これは金木町母娘クラブが子供たちによい遊び場を創出し、児童自身の欲求や興味から新しい教育の原理である。生徒自身の欲求や興味から

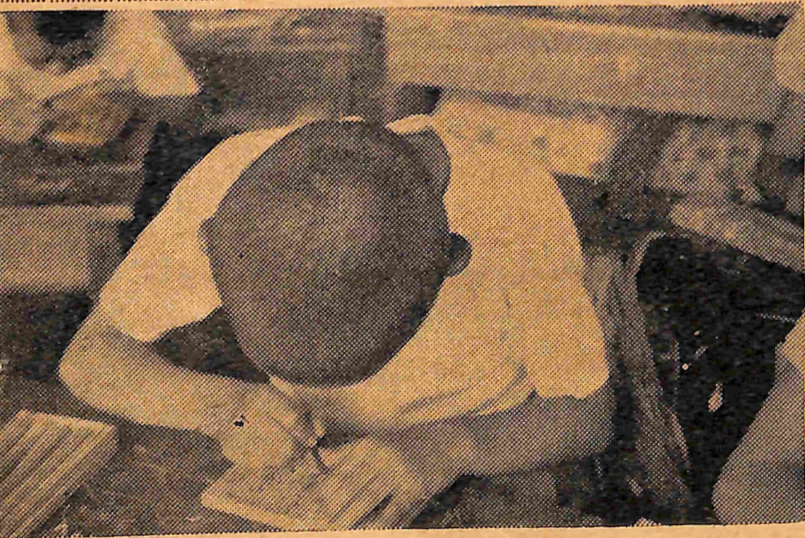
クラブ活動

社会への基礎を興える

クラブ活動の種類は、陸上、野球、サッカー、排球、卓球、文芸、手芸、調理、音楽、書道、読書、美術、洋裁、英会話、珠算、基礎学力教室という分類を持ち、各クラブにはそれぞれ指導教師が配置されている。放課後一斉にクラブ毎に分かれて行われるが、教師の指導が常に成功への重要な一因となるのである。クラブ役員は、適当な人物をクラブ員が推薦して、指導教師が承認をあたえる方法を持統している。そしてこの土地に根ざしたものの特性が世に進出する人間を養うことに眼目をおいている。

生徒代表議会

生徒代表議会はホーム・ルームから三名の代表者を出し、各クラブから一名ずつ選出された委員により構成されている。会の招集は



目から耳からの直接的な学習指導は、もちろん公民館活動における地域社会の課題解決のための方々の努力が、今月末に入選と決定した。踊りの振付けも出来ている。

一、ハア一
青野さくららは嫁の桜ヨ一
春にうかれて化粧する
野良の仕事も一段落さ
えびす笑顔で花見酒
(唯) エーソレ
エーソレ 稼ぎやナ

二、ハア一
こは北郷お米の出とこヨ一
奴、徳助ひと踊り
嘉瀬と金木の間の川ヨ
小石流れて木の葉コ沈む
三、ハア一
實の川原のお地蔵まつりヨ一
石コ積み積みものを言う
家内安全火の用心
丸い心で暮しやんせ
金木小唄

永沢 与介 作曲
藤田 桂三 補作
石本美由起 補作
一、溶ける根雪に 驚愕して
春は絵巻の 金木町
土と下の 阿(あ)の町栄え
日毎伸びゆく 繁昌ぶり
バツソソソレヨイサノサイ
二、ひとと眼千両 自慢のさくら
夢の青野湖 花の春
可愛いあの娘は絵巻として
春のボートにや 誰と乗る